

ホーム名：グループホームジョイフル小路					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々の勤務の中で理念の共有をし、実践に向けて取り組んでいます。	「その人らしく普通の暮らし」を理念に掲げ、無理強いせず、入居者その人その人に合わせた支援を実施している。	理念はその事業所を表す“顔”とも言える。外来者にも胸を張って示せるように、玄関先やリビングへの体裁の良い掲示を望む。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者のADLの低下もあり、日常的には難しくなっています。	自治会に加入し、地区の避難訓練や年末の夜警、また自治会主催の敬老会や花見・餅つき大会などに参加している。支援学校の児童等とも交流を深めている。	事業所が地域の中で繋がりをもちながら暮らしている様子が伺えた。ボランティアの来訪も積極的に受け入れ、入居者の楽しみが増える事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	区内での認知症の研修や講演会など積極的に参加しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの実際や取り組み状況等について、毎回報告話し合いをして、ご家族様や地域の皆様の意見を伺いよりよいホームになるよう活かしています。	家族・町会長・東生野包括支援センター職員・会社代表・施設責任者・ホーム管理者を構成員として、2か月に1度リビングで開催されている。近況報告、活動内容の評価、要望・助言内容のテーマで進められている。	市職員の他、民生委員、婦人会、老人会など地域の方にも出席を呼び掛けてみられたい。議事録フォームの見直しを望む。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	一部の職員に限られますが、区内の保健福祉支援センター、介護保険課、地域包括支援センターなどと日頃から連絡を密にし、協力体制ができています。	書類の件や入居に関して困った事など、相談しながら解決に当たっている。	独り身の方も多く、ホームで葬式を出した経験もある。市の職員にも、運営推進会議等を通して事業所の現状を知って頂きたいと思う。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修などを通して身体拘束しないケアを実践していますが、一部の入居者の不穏時の対応として玄関の施錠をすることがあります。玄関前が車の往来があり、入居者のご家族様の了解のもと安全上実施させていただいています。	帰宅願望が強い入居者がおられ玄関は施錠していたが、ホームでの生活を楽しくする事で願望を和らげ開錠に向けて取り組んできた。現在は安全対策として施錠を続けているが、外出したい様子が見られる時には察知し一緒に出掛けている。	入居者が、今したい事・言いたい事・歌いたい事などに於いても、行動を抑えたりさえぎったりしないよう、日頃の生活の中での些細な事にも注意を払いながら、また会議等を通して研鑽を積んでいかれたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の研修に積極的に参加し、職員研修時に伝達研修を行い、日頃のケアの中でも見過ごされることがないように防止に努めています。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業とは毎月利用者の金銭管理を通して連携の場がありますが、成年後見人制度については学ぶ機会がありません。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の事前や締結時に不安や疑問点があれば十分な説明を行います。入居してからも疑問点があればいつでも対応できるようにしています。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口を設置していますが、身寄りのない入居者が多いため意見、要望がいまのところないので反映できていません。</p>	<p>家族がホームに来られる時に積極的に話しかけ、関係作りを心掛けながら要望等を伺っている。「苦情・相談箱」を設置して意見の収集にも働きかけている。</p>	<p>入居者や家族から何でも気兼ねなく行って貰える事は、ホームにとって更なる発展につながる。家族との絆を更に深められたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>日頃職員から出てきた意見があれば会議や管理者を通して代表者に提案し、反映できています。</p>	<p>職員の提案から「俳句」数種と「河内音頭」の歌詞を書いた模造紙を壁に貼り、レクリエーションの中で入居者と斉唱して楽しんでいる。</p>	<p>ホームの充実を図るには、職員の積極的な態度が欠かせない。今後も積極的に提言がなされるよう期待する。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々の努力や勤務状況など代表者に管理者から報告し、働きやすく向上心がもてるよう職場の環境づくりを心がけています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員均等に外部の研修を受ける機会を確保しています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1回連絡会に参加して会議や研修を通して情報交換に取り組んでいます。そこでの活動をとおしてサービスの向上ができるよう努めています。</p>		

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築けるまで、ホームの生活になれていただくよう、寄り添い、不安を解消できるよう努めています。			
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族様のこれまでの困っていたことや、不安なことなど、これからの生活の意向を伺い安心していただけるよう努めています。			
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要とするサービスを見極め柔軟に対応できるよう努めています。			
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する家族のように支えあう関係を築いています。			
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様に安心していただけるよう本人と家族様の絆を大切にしながら本人を支えていく関係を築いています。			
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望があれば柔軟に対応できるよう支援させていただいています。	馴染みの理・美容院に通われている方がおられる。公園への散歩や買い物・飲食店など、継続して利用している。飲食物や嗜好品なども本人の望むように提供している。	今後も今迄と同じく、関係が途切れない支援をお願いします。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるような支援に努めている	フロアでレクリエーションや行事などを一緒に楽しみ、利用者同士が関わり合い、支えあえることができるよう支援しています。			
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	これまで看取り介護で亡くなられて終了となっています。			

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを大切に支援できるよう努めています。	話しかけて聞き出す事を第一としている。言葉遣いやその人に合わせたスピードで、話し易い雰囲気作りに心掛けている。	今何をしたいか、という事は勿論の事、今後どのような暮らし方をしたいか、どう生きたいかなど、本人の思いを引き出せるように、今後も努力されたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの暮らしを本人やまわりの方から情報収集を行い、把握できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしい生活がすごせるよう現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日のケアの記録や、申し送りを通し、必要に応じて話し合い、柔軟なケアができるよう現状に即した介護計画を作成しています。	日々の申し送りや会議の中で、各入居者の様子を報告し、話し合って介護計画を作成している。往診時に医師にも意見を聞き、計画に反映させている。	その人その人に合った身近な目標設定で、毎日の生活に張り合いや目標が持てる様な介護計画を作成されたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録から職員間で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援やサービスの多機能化に対応できるよう支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で生活できるよう支援していきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な訪問診療日以外にも状況に応じて医療が受けられきめ細かい医療の支援が受けられています。	協力医院の往診が週1回、訪問看護は週2回あり、バイタルチェックのみ受けている方もある。24時間体制で医療連携をとっている。歯科医師の訪問も週に一度あり希望者のみ診察を受けている。	他の病院への通院には管理者が同行している。今後も医師との連絡を密に取り家族、医療機関、事業所の連携で入居者が安心して生活されるよう支援を願う。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>日常的に医療連携とれており、相談したりアドバイスを受けてり良好な関係づくりができています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>主治医を通しての入院になるので病院関係者との情報交換や関係づくりはできています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医と家族様と終末期の延命処置について話し合いをしていただき家族様の意向を確認して終末期の支援ができるよう取り組んでいます。</p>	<p>入所された時点で本人、家族、医師の間で延命治療の有無についても話し合い、その内容は個人ファイルに明記されている。去年から看取りまでの支援を始めておりこれまでに4名の入居者を事業所で見送っている。「ここが利用者の自宅」と考える管理者の考えのもと、本人、家族の希望があれば泊り込みで最後まで寄り添うこともできる。</p>	<p>管理者は家族への気遣いを大切にし、入居者の身だしなみにも気を配るよう職員に伝えている。家族のおられない方にとっても看取りまで支援する事業所のあり方は大変心休まるものと考えている。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日頃から、管理者やケアマネージャに報告、連絡、相談を行い。年2回緊急時や火災の訓練を全部の職員参加で行なっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>区内のきずなネットにより災害時に地域と連携がとれるよう日頃から協力体制ができています。</p>	<p>年に2回の消防訓練をしている。直近では7月に夜間出火想定消防自主訓練を行い利用者も8名参加している。消防との協働訓練は今月予定している。地域の訓練に参加し緊急時の協力体制について町会の方でも気にかけてくれている。</p>	<p>入居者が安心して暮らせるように地震の訓練を含めて、夜間の人員での訓練、予告なしの訓練等、さまざまなケースを想定して繰り返されたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個々に合わせた言葉使いの対応をしています。誇りやプライバシーに配慮して職員同士もお互いの言葉使いに注意しています。</p>	<p>日常の支援の中でおむつ交換や入浴時など特に羞恥心を傷つけないように注意している。入居者の言動を全否定しないでゆっくり話を聞こうと努めながら職員は支援している。</p>	<p>ゆったりと、その人らしく過ごせるように、入居者の言葉や態度に寄り添いながら支援している先輩職員の姿を見て新入社員もその思いを引き継いでいられる事を期待している。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者によって自己決定できない場合があるので本人の気持ちにそって思いや希望を表せるよう働きかけています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事時間などの決まり事はありますが、一人ひとりの状態に合わせて支援しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>季節や気温の変化にあわせた身だしなみの支援ができるようにしています。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好にあわせ、おいしく食べられるよう対応しています。ADLの低下や認知症状の進行あり、利用者と一緒に準備や片付けは困難になってきています。</p>	<p>業者から届いた食材で職員が調理するが朝食は職員が買いに行く。一人一人の好みや食欲、体調を見ながら調理に気を配り、楽しい食事の時間を過ごしてもらうように声かけも忘れていない。季節の行事や誕生日を食を通して楽しめるよう支援している。</p>	<p>寿司の出前を取ったり外食に出かけることもある。職員が同じテーブルで一緒に同じ物を食べることで利用者との親密感も増している。頻繁に作る手作りのおやつも入居者の楽しみになっている。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事表や水分摂取表に記録を残し、一人ひとりの状態を把握し、栄養バランスや水分量が不足しないよう努めています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎週訪問歯科の診察がある。毎食後口腔ケアをしていただき、一人で出来ない場合は一緒に行なっています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄のリズムを24時間シートで把握して声かけやトイレ誘導の支援を行い、排泄の自立にむけている。</p>	<p>ほとんどの入居者は何らかの排泄支援を受けている。個人ケースファイルで各自の排尿、排泄のペースを管理している。</p>	<p>便を漏らした時などのオムツの交換時には特に、気を使わせることのないように言葉使いや声の大きさにも気配りするよう注意している。引き続き自尊心を傷つけることのない支援を続けられたい。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個々の排泄状態を把握し、食べ物の工夫や主治医に相談して軟下剤を服用して便秘の予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の支援は午後に行なっているが、利用者の状態にあわせてタイミングに合わせて入浴していただいています。</p>	<p>入浴は毎日午後2時から一日に3人入浴よう支援している。二人介助、補助ボード等も使用し、入浴剤も使い安全でリラックス出来るようにしている。</p>	<p>入浴を嫌がられる時の対応も工夫しながら週に3回くらい入浴できるように支援している。入浴できない体調の時には足浴や手浴、清拭で清潔を保つようにしている。今後も本人の希望を取り入れながら入浴支援を続けられたい。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安心して気持ちよく入眠出来るよう支援しています。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>主治医から処方された内服薬を薬剤師から個々の服薬内容の説明をうけ一緒に確認を行い、症状の変化があればそのつど対応し確認しています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の生活習慣や状態に応じて支援しています。</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や日々の買い物などの希望に応じて対応できるようにしていますが、ADLの低下もあり、遠くへの外出は希望されません。</p>	<p>買い物、喫煙などを希望する人には職員が同行している。それぞれの個性や好みを大切に、見守りの中で希望が叶うように支援している。外出を希望しない人もおられるが、季節の花見や紅葉を見に行くなどの支援をしている。</p>	<p>事業所前にある花壇には夏の間朝顔が植えられていた。今後とも入居者が水やりなどで外気浴ができるよう、また事業所を訪問された方を明るい玄関で迎えらるよう、花壇の有効利用を職員で工夫されることを期待している。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望があれば一緒に買い物に行くなど支援しています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じて対応させていただいています。年賀状は毎年家族様に送れるよう支援しています。</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よい空間になるよう配慮しています。生活音も又時間の流れがわかるようで安心できる面もあるようです。</p>	<p>食卓まわりとテレビ前のソファのコーナーをその時々で入居者は自由に移動して思い思いの過ごし方をしている。皆で飾り付けたクリスマスツリーが季節を感じさせている。毎食前に口腔体操をしていて、訪問時には新入職員が一人ひとりにとても丁寧に口腔体操を行っていた。職員が入居者の言葉を否定することなく聞き、温かい対応をしている。</p>	<p>職員の温かい見守りで穏やかに過ごす入居者の様子が見られた。事業所の目標である「ゆとりの介護」を今後も続けていかれることを期待する。壁に飾る写真の笑顔は入居者や家族を和ませるものであり、最近の行事の写真などをどンドン飾っていただきたい。職員の提案を取り入れ、俳句や河内音頭の歌詞を壁に貼り皆で読み合わせ楽しい時間を作るために工夫している。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事のテーブルやリビングのソファに座ってテレビを見たりして過ごされるのがホットされるようです。</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に入るとホットできる居心地のよい居室づくりに配慮しています。</p>	<p>管理者は入居者に自分の家だと思ってもらいたいという考えで居室への持ち込み品にも制限がないので仏壇やレンジ、お孫さんの写真など持ち込みその人らしい居室になっている。CDデッキを枕元に置き好きな音楽を楽しんでいる入居者もおられた。</p>	<p>職員が毎日居室の清潔を保つよう清掃を行い、布団干し、シーツの洗濯も定期的にされている。室内の暖房を多く使用し屋内で長時間過ごす季節を迎えるので換気口のフィルターの清掃にも気を配り気持ちよく過ごせるよう支援を期待する。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の状態に対応できるよう、当たり前の生活がすごせるよう工夫しています。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない